

週日の説教

金 大烈 神父 2011年8月30日(火)

《心の中の善と悪 ～善いほうを選べるように祈り求めましょう～》

いつも申し上げていることですが、私たちの心の中には戦いがあります。それは、善いことと悪いこととの間で生じる戦いです。そして少し離れて見れば、どちらが正しいことでどちらが悪いことなのか、すぐに分かります。それは簡単なことです。それなのに私たちは、悪に負けてしまうことがあります。

私たちは、この世に生きている限り、心の中の善と悪とのぶつかりの中で、どちらかを選ばなくてはならないのでしょうか。そしてその選択によって、救いの道を歩めるのか、歩めないのかが決まるのでしょうか。

しかし、私たちは愚かさも持っています。気をつけていなければ、すぐに善と悪を見分ける力を失ってしまいます。気をつけるということは、結局祈ることです。いくら知識があっても賢いと言われていても、祈らないのに善悪を見分けられる人はありません。小学校も卒業できなくて、ほとんど勉強する機会がなかったようなお年寄りが見せる模範的な姿に、「ああ、これは素晴らしい知恵だ。勉強しても得られないような素晴らしい知恵をもっていらっしゃる。」と思うことがあります。皆様もそのような体験をしたことがあると思います。では、そのような心、知恵はどこから来るのでしょうか。それは、祈り求める心によって、神様がくださるのではないかと思います。

私たちは、死ぬまで心の中に葛藤を経験しながら生きています。その時、できれば正しいほうを選びましょう。悪い心が勝って一時的に快感を覚えたとしても、その後はどうでしょうか。いつも心の中がうるさくなります。「間違えた」という声はどこからか聞こえて来ます。だから悪い心に勝てるように気をつけましょう。そのために祈りましょう。

悪魔は、神様を信じない人には近づいて来ません。皆様がいつも「神様を信じます」と言うから、もっと強く近づいてくるのです。ある意味で、悪魔は信者にとって意味のある存在です。信じる人にとって意味のある存在です。神様を信じていない人には、悪魔は何の意味もありません。私たちが「イエス様を愛しています。」という告白をしているから、悪魔にとって意味があり、近づいてくるのです。

悪は簡単なこと、簡単な否定的な心によって生じます。ごく小さな否定的な感情によって、この世の中のあらゆる戦争が始まったのかもしれませんが。

だから祈ってください。自慢しないで、「私は弱いものです。あなたが助けてくださらなければ倒れます。」という心で絶え間なく祈ってください。悪の前に倒れるかどうかによって、私たちはいつか判断されるのでしょうか。負け犬にならないように頑張りましょう。

ありがとうございました。